

## ■方 針

### ①第1期の骨格を維持した計画の策定

公共施設の維持・管理は長期的な視点が重要であるが、第1期計画策定から約2年の経過であること等を踏まえ、第1期計画の骨格は変更せずに策定を進める。

### ②長寿命化対策の優先度の総合判定結果の見直し

第1期策定以降（令和3年2月以降）の各施設の改修工事等の実績や施設健全度、施設重要度を再評価し、優先度総合評価(P63)や改修計画(P67、68)を見直す。

### ③計画期間内においても随時改修計画の見直しを実施

10年間の長期計画であるため、建物の劣化状況や工事の進捗状況、その他財政状況等を踏まえ、随時改修計画を見直しながら計画を推進する。

## ■計画期間

令和8年度から令和17年度まで(10年間)

## ■策定体制 ※策定支援：ランドブレイン株式会社(各調査の助言・まとめ、計画案策定等)

### ①朝霞市公共施設等総合管理計画庁内検討委員会(令和5年、令和6年度各3回予定)

目的：公共施設等の総合的かつ計画的な管理・推進のための計画について必要な事項を検討するために設置

内容：策定経過、各種調査等の結果を報告し、意見をもらう。

各種調査等、実施内容を周知する。

### ②検討会議(朝霞市公共施設等総合管理計画庁内検討委員会設置要綱第6条に基づき設置)

目的：公共施設等を所管する課の実務担当者で組織し、施設点検(資料1-1)や施設カルテ(資料1-2)で使用する調査シートだけでは把握できない状況の共有・意見交換をするために設置

内容：施設点検など調査シートの結果を踏まえて、優先順位の調整等を行う。

### ③パブリック・コメント(令和6年9月ごろを予定)

## ■主なスケジュール

### 令和5年度

- ・施設点検（7月～9月）及び施設カルテ（9月～11月）の更新

### 令和6年度

- ・令和5年度の施設点検や施設カルテの更新等を踏まえ、施設健全度・施設重要度を評価
- ・長寿命化対策等の優先度の総合評価結果の見直し
- ・改修計画の検討
- ・計画素案の作成（4月～8月）
- ・パブリック・コメントの実施（10月）
- ・計画案の作成（11月～1月）※必要に応じてパブリック・コメント結果を反映
- ・計画策定（令和7年3月）

## ■策定過程の公表

- ・策定の進捗・見直し状況等は市ホームページで公表し、随時改訂する。